

令和2年6月24日

記録：関根 浩

令和2年度 第1回 教育課程編成委員会 議事録

- 1 日時 令和2年6月23日（火）13時30分
- 2 場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
- 3 出席者 小林健一（つつじの園施設長）
森保博子（飯能市基幹型包括支援センター管理者）
平澤淳校長 星野成美介護福祉学科長
高松浩之介護福祉学科教務主任 関根浩学務部長

4 校長挨拶

お忙しい中、本日はありがとうございます。新型コロナウイルスの関係で、入学式は中止、授業もリモートで行うなど、学校にも影響がありましたが、6月から無事に平常授業がスタートしました。これから実施する介護実習の日程も未定、2波・3波にも備え、試行錯誤しながらの動きとなっています。現場の方々の意見を生かし、介護福祉士を育てていけるよう、ご指導よろしくお願い致します。

5 委員委嘱状交付

6 教育課程編成に係る現状と課題等

- ・介護福祉士国家試験は、8名全員合格だった。
- ・今年度1年生は、日本人12名（内4名が大川学園高校からの内部進学生）、委託訓練生4名、留学生24名、合計40名が入学してきた。留学生の出身国は、中国1名・ベトナム15名・インドネシア2名・スリランカ1名・ネパール1名・フィリピン4名で、男女別では、男性4名・女性20名（1名休学中）の10代から30代である。
- ・今年度2年生は、25名。内訳は、日本人が15名、留学生が10名である。
- ・今年度の介護福祉学科のテーマは、『感性豊かな介護福祉士の育成』としました。「Careの3H」を兼ね備えた、知識や技術だけではなく、利用者の思いをくみ取れる思いやりのある感性豊かな介護福祉士になれるよう育成したいと考えている。特に留学生は、日本で働くという意味で、日本人の利用者様の思いを考えることができる人材を育てていきたい。
- ・新型コロナウイルスの今後の影響も考え、1年生は、座学を中心に、2年生は、前期が実習・後期が国家試験に向けた授業を展開していこうと考えている。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策として、各自登校時に体温をチェックし、「健康チェック表」にその他のチェック項目も記入した上で、校舎へ立ち入る前に提出している。授業開始前に手を洗い、実技演習では、なるべく学生同士ではなく、介護用

モデル人形を使用し、フェイスシールドとマスクを着用した上で行っている。その他、授業中、喚起を行い、密にならないようベッド間のスペースを空けている。授業終了時には、手洗いにフェイスシールド等の使用物品の消毒を徹底している。

- ・学生には、新型コロナウイルスの影響により、中止になるかもしれないと伝えている介護実習は、2年生は、8月24日～9月26日、1年生は、9月14～26日を予定している。介護実習に関しても、新型コロナウイルス感染予防対策として、開始2週間前から「健康チェック表」を各自で記入する。実習中は、マスク着用と消毒の徹底、不要不急の外出を控え、発熱・体調不良時には無理をせずに休むようにする。また、学生本人又は、介護施設の方の新型コロナウイルス感染により実習が中止となった場合は、学内での実習に切り替えて終了とする（学事課に確認済み）。

・主な年間予定

- ・＜6月29日(月)＞新入生歓迎会。

- ・＜8月＞VR認知症体験会。

- ・＜9月＞1年生：介護実習Ⅰ－2。2年生：介護実習Ⅱ。

- ・＜10月＞理事長による「マナー研修」。

「Job Caf'e」…事前に各自で名刺を作成して臨む。

- ・＜11月＞1年生：介護実習Ⅰ－3

- ・＜12月＞地元精明地区等が実施する「ひとり歩きやさしい声かけ訓練」へ参加し地域の方々と交流を深める。

毎年恒例である介護実習でお世話になった利用者様等へ「クリスマスカード」の作成。

- ・＜2月＞1・2年生：防災・災害の知識を高める為、防災センターにて「防災体験」特別授業期間では、「アロマセラピー」や「マナー研修」の他に、1年生対象で「聴導犬」又は「介助犬」の実演を行うことで、動物から学ぶことを授業に取り入れたり、障害を持たれている方が遠隔操作を行い、動くロボットが働くカフェで話題になっているAIロボット「OriHime (オリヒメ)」の実演等、障害をもたれている方へのケアについても学習していきたい。

- ・今年度6月「芳友会(同窓会)研修会」で実施する予定であった、若年性アルツハイマーの方の講演も特別授業等で実施したい。

- ・1年生の留学生は、前期の午後の時間を使って週4回の日本語授業を4クラスに分かれて勉強している。直近の「日本語検定」は、新型コロナウイルスの感染防止により中止となりましたが、次回12月の「日本語検定」に向けて勉強をしている。

- ・2年生の留学生の内、現段階での国家試験介護福祉士の合格圏内は2～3名である。

7 意見交換

- ・新型コロナウイルス感染防止に伴い、学校も大変でしょうが介護施設も大変である。留学生を育てるにあたり、学校の側で、日本人への理解を教えていると聞き、学校で文化等を学んでいただけると、介護施設等の受入側にとってはとても助かる。

- ・訪問介護等での現場では、利用者様や家族の方の中に外国籍の方がいる。例えば、大川学園の留学生がその間に入り、通訳の役目として活躍できることは、とても売りになることだと思われる。
- ・留学生が多いのは何故なのか？
 - 日本語学校や介護施設等と連携しているからである。
- ・新型コロナウイルス感染防止による現在の施設等の対応は？
 - 飯能市総合福祉センターは、先週（6月15日）から平常に戻ったが、お風呂とカラオケの施設は中止となっている。介護施設は、利用者様の家族の方は、立入禁止のところが多いとのことで、利用者様との外食も禁止としている。施設の従業員に対しても、一定の制限を設けている。就職希望の施設見学も未だ受け入れられない状況が続いている。
- ・7月に予定している大川学園内で実施する「認知症サポーター」の講習について、「地域包括支援センターさかえ町」の担当の方に、外部委員の森保博子様から当校への講師依頼の件を伝言していただけるとのことである。
- ・12月に予定している「ひとり歩きやさしい声かけ訓練」に関しては、飯能市精明地区の実行委員会が行うか否かの判断をする為、実施するかは未だ未定である。

8 令和元年度第2回教育課程編成委員会の意見書の追加

感染症対策で大変かと思えます。介護福祉学科においては、留学生への対応がとても重要となってきたと思えます。一般学生は勿論ですが、留学生に対して手厚い学校になることが先々につながっていくと思えますので、特色ある学校づくりを実践していけると良いかと感じます。

9 次回開催予定 令和3年3月1日（月）13時30分 2階会議室